

| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |                |
|----------|-----------------------|--------|----------------|
| 建物名称     | (仮称)株式会社ミズキ新社屋・工場新築工事 | 階数     | 地上2F           |
| 建設地      | 綾瀬市小園字下原717-14        | 構造     | S造             |
| 用途地域     | 工業専用地域                | 平均居住人員 | 45人            |
| 地域区分     | 6地域                   | 年間使用時間 | 3,000時間/年      |
| 建物用途     | 工場                    | 評価の段階  | 実施設計段階評価       |
| 竣工年      | 2017年8月 予定            | 評価の実施日 | 2016年11月15日    |
| 敷地面積     | 3,000㎡                | 作成者    | 株式会社イヅミ建築設計事務所 |
| 建築面積     | 1,762㎡                | 確認日    | 2016年11月15日    |
| 延床面積     | 3,444㎡                | 確認者    | 株式会社イヅミ建築設計事務所 |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項   |   | その他   |
|--------------|---|---|
| 総合           | 断熱材及び断熱性能の高い材料、LED照明等を採用し、省エネルギー高効率化に配慮している。  |   |
| Q1 室内環境      | 該当なし  | Q3 室外環境(敷地内)<br>緑地面積を大きく確保することにより、地表温度や地表付近の気温上昇を抑制している。                          |
| LR1 エネルギー    | 高効率照明設備を中心に採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。  | LR3 敷地外環境<br>ストックヘッスの設置、有価物の回収等により廃棄物処理負荷を抑制をしている。<br>また、広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。 |
| Q2 サービス性能    | 補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮している。<br>また、階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。 |   |
| LR2 資源・マテリアル | 自動水栓や、節水型機器を用いるなど、水資源を保護している。<br>また、リサイクル材を採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。                 |   |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される